

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		講義・演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	吉田 健								ICT活 用	○
授業概要	卒業研究は、個々の課題研究であるが、方法や課題をゼミ生で共有し、情報の意見交換などお互いに協力し合う。先行研究・資料収集と整理、研究計画を検討し、スキルを高めていく。研究内容は、疑問に思うこと、経験したことの中から興味・関心の高いものを研究対象とする。図画工作と教育現場に関わりの深い内容を選択し、美術教育との関連を図りながら卒業論文に仕上げる。発表の形式は、制作（作品）と論文に著す。研究課題は個々の裁量に負うが、これまでのゼミの活動から培われたものを最大限に生かす。テーマ設定後は制作研究と文献研究を進めて理論的背景を構築していく。制作研究では試作を繰り返しながらスキルを高めていく。卒業論文は、自己表現と捉え、受け取る側を十分に意識した完成度の高いものとしたい。									
関連する科目	教科教育法（図画工作）、保育内容指導法（造形表現）、図画工作演習、子どもと手作り遊び、図画工作									
授業の進め方 と方法	専門ゼミⅠ及びⅡの内容を踏まえ学習を進める。研究の目的や方法 については専門ゼミⅠから進めている。文献研究による理論的研究を深めていく。子どもの発達段階と造形表現とをいろいろな角度から検討していく。各自のテーマに沿った、文献研究、資料収集を行い、ものづくりの背景や意味や歴史も研究の対象とする。絵画、立体、工作、デザイン等の制作実践を通して研究の深化を図る。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 1年間の流れ 計画立案 卒業研究計画の確認									
授業計画 【第2回】	研究計画の検討と修正① 具体的な計画書を作成する。									
授業計画 【第3回】	研究計画の検討と修正② 先行研究等の資料を整理する。									
授業計画 【第4回】	先行研究の情報収集と分析① 収集した資料から、参考となる項目を拾い上げる。									
授業計画 【第5回】	先行研究の情報収集と分析② 先行研究の文献を整理し、参考となる事項を選択する。									
授業計画 【第6回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導① 論の立て方を再度検討する。									
授業計画 【第7回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導② 執筆に全力で当たる。									
授業計画 【第8回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導③ 執筆に全力で当たる。									
授業計画 【第9回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導④									
授業計画 【第10回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤									

授業計画 【第11回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥
授業計画 【第12回】	卒業研究の中間報告①
授業計画 【第13回】	卒業研究の中間報告②
授業計画 【第14回】	前期のまとめ
授業計画 【第15回】	後期の研究計画について
授業計画 【第16回】	後期の個人研究計画の確認①
授業計画 【第17回】	後期の個人研究計画の確認②
授業計画 【第18回】	後期の個人研究計画の確認③
授業計画 【第19回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導①
授業計画 【第20回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導②
授業計画 【第21回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導③
授業計画 【第22回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導④
授業計画 【第23回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤
授業計画 【第24回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥
授業計画 【第25回】	卒業研究のまとめ①
授業計画 【第26回】	卒業研究のまとめ②
授業計画 【第27回】	卒業研究の発表の準備①

授業計画 【第28回】	卒業研究の発表の準備②
授業計画 【第29回】	卒業研究の発表の準備③ 発表に向けて、準備の確認をする。
授業計画 【第30回】	卒業研究の総括 良かった点や改善点をまとめる。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	・ 研究に対する積極性があり、主体的に参加する。 ・ 課題を発表、討論することで学習を共有する。 ・ 卒業研究に向けての研究構想を具体的に作成し、計画を推し進める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)／*
授業時間外学習【予習】	
授業時間外学習【復習】	
課題に対する フィードバック	専門性や社会性、客観性を注視し、助言を行う。
評価方法・基準	課題に対する取り組み方、姿勢、課題の成果により総合的に判断する。
テキスト	特になし
参考書	参考文献、引用文献資料等、適宜紹介しながら研究推進する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究				授業形態	演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	後藤 吉道							ICT活用	○
授業概要	①自らの課題について、人間形成論に関わる文献を読み、その内容を理解する方法を身に付ける。 ②文献から読み取られた内容を自身の生き方に反映させる手立てを整理するとともに自分の考えを論文としてまとめる。								
関連する科目	「子ども教育専門ゼミⅠ」 「子ども教育専門ゼミⅡ」								
授業の進め方 と方法	①各自のテーマに沿ってデータを収集し、卒業研究をまとめる。 ②文献の内容を正確に理解し、自身の研究内容を著者の見解と比較・検討する。 ③受講者同士による質疑応答を絶えず繰り返しながら論文を作成する。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方								
授業計画 【第3回】	卒業研究のテーマ設定 (1)								
授業計画 【第4回】	卒業研究のテーマ設定 (2)								
授業計画 【第5回】	卒業研究のテーマ設定 (3)								
授業計画 【第6回】	個別指導 (1) (先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について)								
授業計画 【第7回】	個別指導 (2)								
授業計画 【第8回】	個別指導 (3)								
授業計画 【第9回】	個別指導 (4)								
授業計画 【第10回】	個別指導 (5)								

授業計画 【第11回】	個別指導 (6)
授業計画 【第12回】	個別指導 (7)
授業計画 【第13回】	個別指導 (8)
授業計画 【第14回】	個別指導 (9)
授業計画 【第15回】	中間報告会 (1)
授業計画 【第16回】	中間報告会 (2)
授業計画 【第17回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (1)
授業計画 【第18回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (2)
授業計画 【第19回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (3)
授業計画 【第20回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (4)
授業計画 【第21回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (5)
授業計画 【第22回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (6)
授業計画 【第23回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (7)
授業計画 【第24回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (8)
授業計画 【第25回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (9)
授業計画 【第26回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (10)
授業計画 【第27回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (11)

授業計画 【第28回】	論文作成の進捗状況についての報告および修正 (12)
授業計画 【第29回】	卒業論文発表会 (1)
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会 (2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 4年間の学修の集大成として、自らの関心から設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、思想書を読解する力を養う。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	授業時間で検討するレジュメを毎回準備しておく。 授業時間外学【復習】
授業時間外学習【復習】	自己の学びをレポートにまとめる。
課題に対する フィードバック	毎回の授業でコメントする。
評価方法・基準	①毎回のゼミの取組 ②卒業論文 ③プレゼンテーション を総合的に評価する。
テキスト	なし
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要があります。
備考	なし

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								ICT活 用	
授業概要	大学教育の総仕上げとして、卒業論文の作成を目的とする。 まず、「子ども教育専門ゼミⅠ」「子ども教育専門ゼミⅡ」を通して、自らの関心領域に基づいて設定した研究テーマについて具体的な研究計画を立てる。次に、関連文献、資料の収集、先行研究の整理、各自のテーマについての現状調査(フィールドワーク等)などの作業を通じて論文をまとめていく。教員による個別指導とともに、「子ども教育専門ゼミⅡ」での討議を重ねて、研究内容を吟味し論文を完成させる。									
関連する科目	各学年で開講されるゼミを履修し、並行して「子ども教育ゼミⅠⅡ」を受講すること。									
授業の進め方 と方法	個々で異なるテーマを取り扱うため、基本的にマンツーマンでの指導を行う。									
授業計画 【第1回】	年間研究フロー確認(執筆スケジュール) ：自分の研究において何を追究し、どのような仮説を立てるべきかを考える									
授業計画 【第2回】	研究方法を決める ：調査方法やデータ収集方法を決め、具体的な計画を立てる									
授業計画 【第3回】	先行文献研究① ：過去の研究成果を文献として調査し研究テーマに関連する既存の知見を把握することで、自身の研究がどのような位置付けにあるのかを理解する									
授業計画 【第4回】	先行文献研究② ：研究対象や研究テーマに関する問題点を発見する									
授業計画 【第5回】	先行文献研究③ ：過去の研究成果や理論的背景を正確に把握する									
授業計画 【第6回】	先行文献研究④ ：どのような方法で研究を進めるか、どのようなデータを収集するか、どのような分析手法を用いるかなど、研究設計に役立てる									
授業計画 【第7回】	先行文献研究⑤ ：文献研究で得られた情報を元に、自身の研究に関する議論を展開させる									
授業計画 【第8回】	実地調査計画 ：どのような手順で調査を進めるか、どのようなデータを収集するか、どのような方法で分析するかなど、調査全体の流れや具体的な内容を明確に計画する									
授業計画 【第9回】	実地調査あるいは研究実践① ：調査目的や調査項目、調査方法、調査対象、調査期間や予算、調査報告書の作成方法など、実地調査に必要な全ての要素を含んだ計画書を作成する									
授業計画 【第10回】	実地調査あるいは研究実践② ：研究対象とする現場で直接観察・体験・収集したデータを基に、問題の把握や課題解決のための情報を収集する。									

授業計画 【第11回】	実地調査あるいは研究実践③ ：調査結果から得られたデータを分析し、問題点や改善策を明確にする
授業計画 【第12回】	実地調査あるいは研究実践④ ：理論的な知識や技術を実践に落とし込み、より深い理解を得る
授業計画 【第13回】	実地調査あるいは研究実践⑤ ：現場のニーズや課題を把握し、それに応じた教育や保育を提供できるよう試みる
授業計画 【第14回】	データを収集する① ：文献調査やインタビュー、アンケート調査、実験、観察などの方法により研究データを収集することで、研究テーマについてより深く理解し、研究の根拠を確立する
授業計画 【第15回】	データを収集する② ：正確かつ適切なデータを収集することで、研究結果の信頼性や説得力を高める
授業計画 【第16回】	データを分析する ：収集したデータを処理し、意味や価値ある情報を抽出する
授業計画 【第17回】	結果をまとめる ：分析結果をもとに、目的・仮説を検証し、結果をまとめる
授業計画 【第18回】	考察する① ：実験や調査などの結果から得られたデータや事実を分析し、それをもとに原因や意義などを解釈する
授業計画 【第19回】	考察する② ：結果やデータを示し、自己の意見や理解、限界や問題点、改善案などを明確にする
授業計画 【第20回】	考察する③ ：結果を踏まえ、考察を行い、自分なりの解釈を示します。
授業計画 【第21回】	結論を出す① ：研究の目的や仮説を振り返る
授業計画 【第22回】	結論を出す② ：研究結果から導かれる答えを明確に示す
授業計画 【第23回】	結論を出す③ ：論文の中で示された議論や結果が、目的や仮説を支持するかどうかを検討する
授業計画 【第24回】	結論を出す④ ：研究において調査された問題点や改善点についても結論部分で示す
授業計画 【第25回】	結論を出す⑤ ：考察をもとに研究の結論を示し、今後の展望や今後の課題なども含めた総括的な考察を行う
授業計画 【第26回】	執筆内容の確認① ：論文のテーマに関する文献や資料を適切に引用しているか、論文の構成が明確か、研究方法や結果の説明が適切に行われているかなど、論文の内容の正確性や論理的な整合性について確認する。
授業計画 【第27回】	執筆内容の確認② ：論文の書式（フォント、行間、余白など）、参考文献の書き方、引用方法、図表の配置、見出しの付け方など、学術的な論文の標準的な形式、および言語表現や文章構成についても、読みやすく分かりやすい表現になっているか確認する

授業計画 【第28回】	参考文献を付ける ：論文に参照した文献を付け、引用規則に従って書式を整える。
授業計画 【第29回】	論文の書式を整える ：指定された書式に従って、論文の構成・レイアウトを整える
授業計画 【第30回】	最終チェック ：誤字脱字や書式のミスがないか、最終的なチェックを行う
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	卒業研究のテーマについては常に関連する情報を収集し、着実に執筆を進めることが肝要となる。
授業時間外学習【復習】	論文指導での指摘点については速やかに改善し、自己管理に留意し、研究計画に沿って進捗させることが求められる。このようにして、研究の質を高めていく。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	卒業研究への取り組みと、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	教員の指導のもと、テーマに応じた文献を各自で収集する。
参考書	随時提示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科			
科目名称	卒業研究							授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	宮内 孝									ICT活 用	○
授業概要	この授業は、大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることを目的としています。 各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解読の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導きます。授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践に取り組んだ経験があります。この実践を通して得た知見を活用して、本授業の学修が深められるようにします。										
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ・Ⅱ										
授業の進め方 と方法	テーマにそって、討論をしたり実技をしたりしながら、主体的に課題解決に取り組むようにします。また、個別指導も取り入れて卒業研究への取組みが円滑にすすむように支援します。										
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション										
授業計画 【第2回】	第2回：各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 グループワーク										
授業計画 【第3回】	第3回：卒業研究のテーマ設定(1) グループワーク										
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究のテーマ設定(2) グループワーク										
授業計画 【第5回】	第5回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)										
授業計画 【第6回】	第6回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2) 卒業研究の計画を設定するとともに、完成までの見通しをもちます。										
授業計画 【第7回】	第7回：個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）										
授業計画 【第8回】	第8回：個別指導(2)										
授業計画 【第9回】	第9回：個別指導(3)										
授業計画 【第10回】	第10回：個別指導(4)										

授業計画 【第11回】	第11回：個別指導(5)
授業計画 【第12回】	第12回：個別指導(6)
授業計画 【第13回】	第13回：個別指導(7)
授業計画 【第14回】	第14回：個別指導(8)
授業計画 【第15回】	第15回：中間報告会(1) グループワーク
授業計画 【第16回】	第16回：中間報告会(2) グループワーク
授業計画 【第17回】	第17回：中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 個別指導も行って、中間発表ができるようにします。
授業計画 【第18回】	第18回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)
授業計画 【第19回】	第19回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)
授業計画 【第20回】	第20回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)
授業計画 【第21回】	第21回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)
授業計画 【第22回】	第22回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)
授業計画 【第23回】	第23回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)
授業計画 【第24回】	第24回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)
授業計画 【第25回】	第25回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)
授業計画 【第26回】	第26回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)
授業計画 【第27回】	第27回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)

授業計画 【第28回】	第28回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)
授業計画 【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成さ、プレゼンテーションができる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの身体や運動にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業前には、各自の卒業研究に取り組むための文献・先行実践についてレジュメ・発表のためのプレゼンを作成します。
授業時間外学習【復習】	授業後は、自己の学びをレポートにまとめます。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行います。
評価方法・基準	論文 60点 プレゼンテーション 40点
テキスト	必要に応じて資料を配付します。
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要があります。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究				授業形態	講義			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	神垣 彬子							ICT活用	○
授業概要	教育相談、教育心理学の領域に関する、自らが問題意識を持つ課題について研究テーマを立て、科学的な知識や論拠を明らかにしながら仮説を基に検討していく。 自ら計画的、長期的に進めるとともに、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり評価し合ったりすることを通して、論文作成を展開していく。								
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを履修しておく。								
授業の進め方 と方法	大学教育の学びのまとめとして、学生は専特別支援教育・保育の分野に応じた研究テーマを設定し、卒業論文としてまとめていく。 各自興味関心のあるテーマを学問的な問題意識および課題へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、研究テーマの設定の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。								
授業計画 【第1回】	第1回□ オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	第2回□ 各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方								
授業計画 【第3回】	第3回□ 卒業研究テーマ設定(1)								
授業計画 【第4回】	第4回□ 卒業研究テーマ設定(2)								
授業計画 【第5回】	第5回□ 各自の論文テーマに沿った研究計画作成(1)								
授業計画 【第6回】	第6回□ 各自の論文テーマに沿った研究計画作成(2)								
授業計画 【第7回】	第7回□ 個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について)								
授業計画 【第8回】	第8回□ 個別指導(2)								
授業計画 【第9回】	第9回□ 個別指導(3)								
授業計画 【第10回】	第10回□ 個別指導(4)								

授業計画 【第11回】	第11回□ 個別指導 (5)
授業計画 【第12回】	第12回□ 個別指導 (6)
授業計画 【第13回】	第13回□ 個別指導 (7)
授業計画 【第14回】	第14回□ 個別指導 (8)
授業計画 【第15回】	第15回□ 中間報告会 (1)
授業計画 【第16回】	第16回□ 中間報告会 (2)
授業計画 【第17回】	第17回□ 中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	第18回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (1)
授業計画 【第19回】	第19回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (2)
授業計画 【第20回】	第20回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (3)
授業計画 【第21回】	第21回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (4)
授業計画 【第22回】	第22回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (5)
授業計画 【第23回】	第23回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (6)
授業計画 【第24回】	第24回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (7)
授業計画 【第25回】	第25回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (8)
授業計画 【第26回】	第26回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (9)
授業計画 【第27回】	第27回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正 (10)

授業計画 【第28回】	第28回□ 論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)
授業計画 【第29回】	第29回□ 卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回□ 卒業論文発表会(2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	大学教育の総まとめとして、自らの問題意識に基づいて設定した研究テーマについて研究を進め、卒業論文を完成させることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	研究テーマについては常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、執筆を進めること（次回授業までに最低3時間は行う）。
授業時間外学習【復習】	研究テーマについては常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、執筆を進めること（次回授業までに最低3時間は行う）。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	論文 60点 プレゼンテーション 40点
テキスト	
参考書	適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	西田 雅美								ICT活 用	○
授業概要	各自の研究テーマに沿って、先行文献を収集し、分析や考察を行いながら、卒業研究としてまとめ、発表する。									
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を履修し、同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を履修すること。									
授業の進め方 と方法	必要に応じて集団指導と個別指導を実施する。 集団指導では、グループワークを取り入れ、共通事項についての議論をはじめ、指導・助言を行う。 個別指導では、各自の研究テーマに沿った指導・助言を行う。 情報収集や分析においてはICTを活用、課題等の提出については学内ツール（ユニバーサルパスポート・classroom）等を利用する。									
授業計画 【第1回】	研究テーマの設定 これまでの学びより、各自の研究テーマを設定する。									
授業計画 【第2回】	テーマの確認と検討 各自のテーマについて、設定の背景と研究目的について確認する。									
授業計画 【第3回】	研究計画書の作成① 研究計画書の作成について、資料を基に指導を行う。									
授業計画 【第4回】	研究計画書の作成② 研究テーマ設定の理由、研究目的、研究方法、研究スケジュールについて作成する。									
授業計画 【第5回】	研究計画書の作成③ 研究方法（アンケート実施の有無・調査方法等）についての確認と内容を検討する。									
授業計画 【第6回】	研究計画書の修正と検討① 研究スケジュールを確認し、見通しを立てられるようにする（後日、メンバー間で報告を行う）。 調査内容について検討する。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第7回】	研究計画書の修正と検討② テーマ設定の理由、研究目的、研究方法、研究スケジュールについて確認するとともに共通理解を図る。 調査内容について検討する。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第8回】	論文構成と書式の確認 論文構成について、再度確認を行う。書式については、配布された資料をもとに確認を行う。 関連する先行文献・書籍等を探す。									
授業計画 【第9回】	先行研究・文献の収集① 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込む。 調査内容の修正・仮説の設定を行う。									
授業計画 【第10回】	先行研究・文献の収集② 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込む。 調査内容の修正と仮説の設定、調査対象の検討を行う。									

授業計画 【第11回】	先行研究・文献のまとめ① 関連する先行文献・書籍等を探し（記録を残す）、読み込み、まとめる。 調査対象を検討する。
授業計画 【第12回】	先行研究・文献のまとめ② 関連する先行文献・書籍等を読み込み、まとめる。 調査依頼を行う。
授業計画 【第13回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）① 各自の研究テーマに関する先行文献のまとめを報告する。 調査依頼と調査を実施する。
授業計画 【第14回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）② 各自の研究テーマに関する先行文献のまとめを報告する。 ゼミメンバーに対して、研究計画書をもとにした進捗状況の報告を行う。
授業計画 【第15回】	各自の中間報告（文献研究のまとめ）③ 前回の報告にて指導を受けた部分について修正を行うとともに、作成を進める。 調査の分析、まとめを行う。
授業計画 【第16回】	論文作成と進捗状況の報告、修正① 各自、研究の背景と現状、研究目的、研究方法について、研究計画書をもとに作成を進める。 調査の分析とまとめを行う。
授業計画 【第17回】	論文作成と進捗状況の報告、修正② 各自、研究の背景と現状、研究目的、研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況の報告、修正③ 研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況の報告、修正④ 研究方法（調査の分析とまとめまで）について、作成を進める。 序論の確認を行う。
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑤ 序論の修正と本論（調査分析・まとめ含む）の確認。
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑥ 本論の修正。終論の作成を進める。
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑦ 中間発表に向けた準備（プレゼンテーション作成と発表）を行う。 終論作成を進める。
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑧ 中間発表準備（メンバー内で、プレゼンテーション及び討議）を行う。 終論作成を進める。
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況の報告、修正⑨ 中間発表から得た学び・気づきについて修正を行う。 終論・参考文献の作成を進める。
授業計画 【第25回】	ゼミ内でのプレゼンテーション① 全体の確認を行い、ゼミ内プレゼンテーションの準備をする。
授業計画 【第26回】	ゼミ内でのプレゼンテーション② メンバー内で、各自のテーマについてプレゼンテーション及び討議を行い、内容の追加・修正をする。
授業計画 【第27回】	卒業研究審査会に向けた準備① 前回の修正をもとに再度プレゼンテーション及び討議を行い、審査会に向けた調整をする。

授業計画 【第28回】	卒業研究審査会に向けた準備② プレゼンテーションの実施と準備物の確認を行い、審査会に向けた最終調整をする。
授業計画 【第29回】	卒業研究審査会 各自、研究テーマについての発表を行う。
授業計画 【第30回】	卒業研究最終仕上げ 審査会にてご指導いただいた部分について修正を行い、最終仕上げを行う。
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 研究計画の立案とテーマに沿った論文作成ができる。 2. 研究成果をまとめ、卒業研究発表会で発表する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	研究計画にそって、論文作成に必要な情報収集や分析をしながら準備をすること（約1.5時間）。
授業時間外学習【復習】	授業を振り返り、内容を修正しながら論文作成を進めること（約1.5時間）。
課題に対する フィードバック	研究成果に対して随時指導・助言を行う。
評価方法・基準	卒業研究への取り組み（意欲・姿勢・態度）、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	授業内で指示する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科			
科目名称	卒業研究							授業形態		講義	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング		
担当教員名	石本 隆士									ICT活 用	
授業概要	主に特別支援教育・保育において、自らが問題意識を持つ課題について、研究テーマを立て、科学的な知識や論拠を明らかにしながら仮説を基に検討していきます。 自ら、計画的、長期的に進めるとともに、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり、評価し合ったりすることを通して論文作成を展開していきます。										
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを履修しておく										
授業の進め方 と方法	大学教育の学びのまとめとして、学生は教育・保育の分野に応じた研究テーマを設定し、卒業論文としてまとめていきます。 各自、興味・関心のあるテーマを学問的な問題意識および課題へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、研究テーマの設定の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていくようにします。										
授業計画 【第1回】	オリエンテーション										
授業計画 【第2回】	各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方										
授業計画 【第3回】	卒業研究テーマ設定(1)										
授業計画 【第4回】	卒業研究テーマ設定(2)										
授業計画 【第5回】	各自の論文テーマに沿った研究計画作成(1)										
授業計画 【第6回】	各自の論文テーマに沿った研究計画作成(2)										
授業計画 【第7回】	個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について)										
授業計画 【第8回】	個別指導(2)										
授業計画 【第9回】	個別指導(3)										
授業計画 【第10回】	個別指導(4)										

授業計画 【第11回】	個別指導 (5)
授業計画 【第12回】	個別指導 (6)
授業計画 【第13回】	個別指導 (7)
授業計画 【第14回】	個別指導 (8)
授業計画 【第15回】	中間報告会 (1)
授業計画 【第16回】	中間報告会 (2)
授業計画 【第17回】	中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (1)
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (2)
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (3)
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (4)
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (5)
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (6)
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (7)
授業計画 【第25回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (8)
授業計画 【第26回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (9)
授業計画 【第27回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (10)

授業計画 【第28回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (11)
授業計画 【第29回】	卒業論文発表会 (1)
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会 (2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	大学教育の総まとめとして、自らの問題意識に基づいて設定した研究テーマについて研究を進め、卒業論文を完成させることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	予習・復習両方において、研究テーマに関連する情報については、常に敏感であろうとするとともに、平等で誠実な視点を維持しながら収集・整理し、計画的で確実な執筆を進めるようにしてください。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	予習・復習両方において、研究テーマに関連する情報については、常に敏感であろうとするとともに、平等で誠実な視点を維持しながら収集・整理し、計画的で確実な執筆を進めるようにしてください。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行います。
評価方法・基準	論文 60点 プレゼンテーション 40点
テキスト	必要に応じて資料等を配布します。
参考書	卒業論文作成に当たっては、必要に応じて助言を求め、各自で文献等を収集してください。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究				授業形態		講義		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	渡邊 光浩							ICT活 用	○
授業概要	主に小学校教育において、自らが問題意識を持つ課題について、研究テーマを立て、理論や論拠を明らかにしながら仮説を基に検討していきます。 自ら、計画的、長期的に進めるとともに、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり、評価し合ったりすることを通して論文作成を展開していきます。 実務経験教員として、研究課題の意義や研究方法、成果と学校現場での実践の関連等を助言します。								
関連する科目	事前に子ども教育専門ゼミⅠを履修し、この科目と同時に子ども教育専門ゼミⅡを履修する。								
授業の進め方 と方法	大学教育の学びのまとめとして、主に小学校教育を教育工学の観点から研究テーマを設定し、卒業論文としてまとめていきます。 各自興味・関心のあるテーマを学問的な問題意識および課題へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、研究テーマの設定の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていきます。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方								
授業計画 【第3回】	卒業研究テーマ設定(1)								
授業計画 【第4回】	卒業研究テーマ設定(2)								
授業計画 【第5回】	各自の論文テーマに沿った研究計画作成(1)								
授業計画 【第6回】	各自の論文テーマに沿った研究計画作成(2)								
授業計画 【第7回】	個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）								
授業計画 【第8回】	個別指導(2)								
授業計画 【第9回】	個別指導(3)								
授業計画 【第10回】	個別指導(4)								

授業計画 【第11回】	個別指導 (5)
授業計画 【第12回】	個別指導 (6)
授業計画 【第13回】	個別指導 (7)
授業計画 【第14回】	個別指導 (8)
授業計画 【第15回】	中間報告会 (1)
授業計画 【第16回】	中間報告会 (2)
授業計画 【第17回】	中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (1)
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (2)
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (3)
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (4)
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (5)
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (6)
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (7)
授業計画 【第25回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (8)
授業計画 【第26回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (9)
授業計画 【第27回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (10)

授業計画 【第28回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 (11)
授業計画 【第29回】	卒業論文発表会 (1)
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会 (2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	大学教育の総まとめとして、自らの問題意識に基づいて設定した研究テーマについて研究を進め、卒業論文を完成させることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	研究テーマについて、常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、コツコツと執筆を進めます。
授業時間外学習【復習】	研究テーマについて、常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、コツコツと執筆を進めます。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行います。
評価方法・基準	論文 70% プレゼンテーション 30%
テキスト	必要に応じて資料等を配布します。
参考書	卒業論文作成に当たって、各自で文献等を収集します。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								ICT活 用	○
授業概要	この授業の目的は、大学での学びの総括として、自ら研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることです。 ①これまで学んできた専門的知識やボランティア活動等で得た経験をもとに、特に幼児や児童のことばや文字、伝え合うこと等にか かわる研究テーマを設定し、②先行研究の収集・整理と分析、③調査・分析等を通して、その成果を卒業論文として執筆します。									
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を受講しておくこと。 同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を受講すること。									
授業の進め方 と方法	この授業は、演習形式で行います。 必要に応じて、個別指導と集団指導を行います。 10月 卒業研究中間報告会、1月 卒業研究論文提出、2月 卒業研究審査会を行います。 なお、講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	課題の確認									
授業計画 【第3回】	研究のテーマ設定 ①自身を客観視する									
授業計画 【第4回】	研究のテーマ設定 ②テーマの焦点化									
授業計画 【第5回】	論文執筆のルール									
授業計画 【第6回】	先行研究の整理、資料収集について									
授業計画 【第7回】	研究計画作成 ①計画についての意見交換									
授業計画 【第8回】	研究計画作成 ②計画の再設計									
授業計画 【第9回】	先行研究の整理 ①文献の読み込み、情報収集									
授業計画 【第10回】	先行研究の整理 ②批判的検討									

授業計画 【第11回】	個別指導（論文執筆）①論文の構造を知る
授業計画 【第12回】	個別指導（論文執筆）②主題文の作成
授業計画 【第13回】	個別指導（論文執筆）③アウトラインの作成
授業計画 【第14回】	個別指導（論文執筆）④題名（仮）の設定
授業計画 【第15回】	個別指導（論文執筆）⑤アウトラインと題名（仮）の整合性
授業計画 【第16回】	研究計画の修正と検討 ①計画についての意見交換
授業計画 【第17回】	研究計画の修正と検討 ②計画の再設計
授業計画 【第18回】	中間報告 ①進捗状況の確認
授業計画 【第19回】	中間報告 ②進捗状況の報告
授業計画 【第20回】	研究計画の修正と検討 ③計画の再々設計
授業計画 【第21回】	個別指導（論文執筆）⑥定型表現を用いた執筆
授業計画 【第22回】	個別指導（論文執筆）⑦論理の階層構造
授業計画 【第23回】	個別指導（論文執筆）⑧研究の意義と位置づけ
授業計画 【第24回】	個別指導（論文執筆）⑨キーワードとの整合性
授業計画 【第25回】	ゼミ内発表 ①意見交換
授業計画 【第26回】	ゼミ内発表 ②論文の再検討
授業計画 【第27回】	プレゼンテーションの作成 ①意見交換

授業計画 【第28回】	プレゼンテーションの作成 ②再検討
授業計画 【第29回】	プレゼンテーションの作成 ③報告練習
授業計画 【第30回】	卒業論文の提出及びプレゼンテーション
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 自身の研究テーマについて、広げては絞り込むという思考の往復運動を繰り返すことができる。 2. 体系的でまとまった情報を収集することができる。 3. 論文の構造を知り、組み立てることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業前には、自身のテーマについて関連情報を収集しまとめ、自身の主張を資料にまとめてください。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業後は、授業内での検討を振り返り、要点を整理し、論文執筆を進めてください。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	毎回のレジュメについては、授業時に評価、コメントします。
評価方法・基準	卒業研究への取り組み 50点 卒業研究論文 50点
テキスト	井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』慶応義塾大学出版会、2019年。(1,200円＋税)
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究					授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山之内 幹							ICT活 用	○
授業概要	実技と論文作成を演習（個別指導）形式で行う 3年次での制作を引き続き行い、論文にまとめる								
関連する科目	特別支援教育に関する全ての科目、3ゼミ、特別支援学校教育実習及び実習指導								
授業の進め方 と方法	制作・模擬授業（実技） 論文・発表プレゼン作成（演習）								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション（年間計画と卒論の形式について）								
授業計画 【第2回】	卒論のテーマの再検討								
授業計画 【第3回】	制作1（自由課題）								
授業計画 【第4回】	制作2（自由課題）								
授業計画 【第5回】	模擬授業指導案作成								
授業計画 【第6回】	模擬授業教材・教具づくり								
授業計画 【第7回】	模擬授業								
授業計画 【第8回】	模擬授業の振り返り								
授業計画 【第9回】	教育実習指導案作成								
授業計画 【第10回】	教育実習教材・教具づくり								

授業計画 【第11回】	卒業論文の作成と添削及び中間発表会のプレゼンについて
授業計画 【第12回】	卒業研究中間発表
授業計画 【第13回】	卒業研究発表会のプレゼン作成
授業計画 【第14回】	卒業研究発表会リハーサル
授業計画 【第15回】	卒業研究発表会
授業計画 【第16回】	
授業計画 【第17回】	
授業計画 【第18回】	
授業計画 【第19回】	
授業計画 【第20回】	
授業計画 【第21回】	
授業計画 【第22回】	
授業計画 【第23回】	
授業計画 【第24回】	
授業計画 【第25回】	
授業計画 【第26回】	
授業計画 【第27回】	

授業計画 【第28回】	
授業計画 【第29回】	
授業計画 【第30回】	
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	2年間で特別支援教育できる教材・教具を7つ以上制作する 制作した教材・教具について対象児、ねらい、作り方。活用法を具体的に記述できる 修得した技術をいかし、4年次の教育実習で教材・教具を制作する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	空き時間を利用し、各自、制作にとりくむ
授業時間外学習【復習】	ものづくりのボランティア活動を通し、実際に子どもや高齢者、障がい者に接し、支援の仕方を学ぶ
課題に対する フィードバック	レポート等にコメント付して返す
評価方法・基準	レポート70% チームへの協力度10% 技術10% 態度10%
テキスト	特別支援教育における教育実践の研究 批評社 2014 山之内幹
参考書	教具づくりに関する論文を提示
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	卒業研究					授業形態	演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	遠藤 晃								ICT活 用	○
授業概要	大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。									
関連する科目	子ども教育専門ゼミIIを並行して行う									
授業の進め方 と方法	各自のテーマに沿って、データを収集し、卒業研究をまとめる。									
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	第2回：各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方									
授業計画 【第3回】	第3回：卒業研究のテーマ設定(1)									
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究のテーマ設定(2)									
授業計画 【第5回】	第5回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)									
授業計画 【第6回】	第6回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2)									
授業計画 【第7回】	第7回：個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）									
授業計画 【第8回】	第8回：個別指導(2)									
授業計画 【第9回】	第9回：個別指導(3)									
授業計画 【第10回】	第10回：個別指導(4)									

授業計画 【第11回】	第11回：個別指導(5)
授業計画 【第12回】	第12回：個別指導(6)
授業計画 【第13回】	第13回：個別指導(7)
授業計画 【第14回】	第14回：個別指導(8)
授業計画 【第15回】	第15回：中間報告会(1)
授業計画 【第16回】	第16回：中間報告会(2)
授業計画 【第17回】	第17回：中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	第18回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)
授業計画 【第19回】	第19回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)
授業計画 【第20回】	第20回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)
授業計画 【第21回】	第21回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)
授業計画 【第22回】	第22回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)
授業計画 【第23回】	第23回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)
授業計画 【第24回】	第24回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)
授業計画 【第25回】	第25回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)
授業計画 【第26回】	第26回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)
授業計画 【第27回】	第27回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)

授業計画 【第28回】	第28回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)
授業計画 【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの発達にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
授業時間外学習【復習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
課題に対する フィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川田 耕太郎								ICT活 用	
授業概要	主に特別支援教育について、自ら設定した課題について、研究テーマを立て、計画的、長期的に進めるとともに、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり、評価し合ったりすることを通して論文作成を行う。									
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを履修しておく 特別支援教育に関する科目									
授業の進め方 と方法	各自、興味・関心のあるテーマについて論文を作成する。 ゼミ形式の相互報告や、担当教員への報告・個別指導を受けながら卒業研究を完成させる。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション ゼミについての共通理解、年間計画									
授業計画 【第2回】	研究テーマの確認 これまでの学びを踏まえたテーマの確認									
授業計画 【第3回】	各自の課題の確認と卒業テーマの検討1 研究したいことと研究の意義の確認									
授業計画 【第4回】	各自の課題の確認と卒業テーマの検討2 研究テーマの修正									
授業計画 【第5回】	各自のテーマに沿った研究計画書作成1 研究に関係する先行文献調査									
授業計画 【第6回】	各自のテーマに沿った研究計画書作成2 研究に関係する先行文献調査									
授業計画 【第7回】	各自のテーマに沿った研究計画書作成3 研究に関係する先行文献調査									
授業計画 【第8回】	個別指導1 テーマ設定の理由、研究目的、研究方法等の検討									
授業計画 【第9回】	個別指導2 テーマ設定の理由、研究目的、研究方法等の検討									
授業計画 【第10回】	個別指導3 テーマ設定の理由、研究目的、研究方法等の検討									

授業計画 【第11回】	個別指導 4 調査方法、調査内容の検討
授業計画 【第12回】	個別指導 5 査方法、調査内容の検討
授業計画 【第13回】	個別指導 6 研究計画書及び序論の作成
授業計画 【第14回】	個別指導 7 研究計画書及び序論の作成
授業計画 【第15回】	中間報告会 1 パワーポイントでの研究計画発表原稿作成
授業計画 【第16回】	中間報告会 2 パワーポイントによる研究計画発表
授業計画 【第17回】	中間報告会を踏まえた研究計画書の修正 質疑応答、指導助言を経た修正
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 1 序論、研究方法の検討
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 2 序論、研究方法の検討
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 3 調査の進行状況確認
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 4 調査の進行状況確認
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 5 結果の確認
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 6 結果と考察
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 7 結果と考察
授業計画 【第25回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 8 結果と考察
授業計画 【第26回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 9 研究のまとめ
授業計画 【第27回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 10 研究のまとめ

授業計画 【第28回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正 1 1 仮説と研究のまとめの整合性
授業計画 【第29回】	卒業論文発表会 1
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会 2
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	自らの課題に基づき設定したテーマについて研究を進め、卒業論文を完成させることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	研究テーマに沿って文献を読み、課題意識をもって解決策を考え、計画的に論文を執筆していくこと。（１時間程度）
授業時間外学習【復習】	研究テーマに沿って文献を読み、課題意識をもって解決策を考え、計画的に論文を執筆していくこと。（１時間程度）
課題に対する フィードバック	提出課題は期限までに提出し、授業時間に評価・解説を受ける。
評価方法・基準	卒業研究論文８０点　発表、ワークショップ等２０点
テキスト	必要に応じて資料を配布する
参考書	各自で自らの研究に関連する文献を収集すること
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、３年間、小学校に勤務。また、４年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、４年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	卒業研究					授業形態	演習			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	河野 康男								ICT活 用	
授業概要	大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の興味や関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。									
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを事前に、子ども教育専門ゼミⅡを同時期に受講しておくことが望ましい。									
授業の進め方 と方法	文献調査や教材作成などの手法を使って、研究を展開する									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方									
授業計画 【第3回】	卒業研究のテーマ設定（１）									
授業計画 【第4回】	卒業研究のテーマ設定（２）									
授業計画 【第5回】	各自の論文テーマに沿っての研究計画作成（１）									
授業計画 【第6回】	各自の論文テーマに沿っての研究計画作成（２）									
授業計画 【第7回】	個別指導（１）（選考研究レビュー、資料収集、資料分析等について）									
授業計画 【第8回】	個別指導（２）									
授業計画 【第9回】	個別指導（３）									
授業計画 【第10回】	個別指導（４）									

授業計画 【第11回】	個別指導（５）
授業計画 【第12回】	個別指導（６）
授業計画 【第13回】	個別指導（７）
授業計画 【第14回】	個別指導（８）
授業計画 【第15回】	中間報告会（１）
授業計画 【第16回】	中間報告会（２）
授業計画 【第17回】	中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（１）
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（２）
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（３）
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（４）
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（５）
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（６）
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（７）
授業計画 【第25回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（８）
授業計画 【第26回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（９）
授業計画 【第27回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（10）

授業計画 【第28回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（11）
授業計画 【第29回】	卒業論文発表会（1）
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会（2）
授業計画 【第31回】	
授業計画 【第32回】	
授業計画 【第33回】	
授業計画 【第34回】	
授業計画 【第35回】	
授業計画 【第36回】	
授業計画 【第37回】	
授業計画 【第38回】	
授業計画 【第39回】	
授業計画 【第40回】	
授業計画 【第41回】	
授業計画 【第42回】	
授業計画 【第43回】	
授業計画 【第44回】	

授業計画 【第45回】	
授業計画 【第46回】	
授業計画 【第47回】	
授業計画 【第48回】	
授業計画 【第49回】	
授業計画 【第50回】	
授業計画 【第51回】	
授業計画 【第52回】	
授業計画 【第53回】	
授業計画 【第54回】	
授業計画 【第55回】	
授業計画 【第56回】	
授業計画 【第57回】	
授業計画 【第58回】	
授業計画 【第59回】	
授業計画 【第60回】	

授業の到達目標	1 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業研究を完成させる。 2 卒業論文に取り組む過程で、子どもの教育に係る諸問題について考察を深め、教員としての専門性を充実させる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	研究テーマに関する課題について調べて、資料を集めて授業に臨む。
授業時間外学習【復習】	授業後は、事後の学び・考え・リレクションをレポートにまとめる。
課題に対する フィードバック	段階的な報告を評価し、アドバイスする。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	なし
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	